

らいてうの家

〒386-2201 長野県上田市真田町長 1278

Tel/fax : 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F

Tel/fax : 03-3818-8626

## オープンにむけて ～清掃と展示準備～

4月17日、今年度のオープンに向け地元会員20人ほどが集合、大掃除をしました。床ふき、台所の整頓、窓枠の掃除などしました。外回りの点検もし、側溝にたまった落ち葉などの片付け、水回りの点検等もおこないオープンにそなえました。4月に開館できることは大きなことと実感できました。



18日19日には東京の理事も合流し、展示の準備をしました。前日に展示物の搬入も済んでおりスムーズに作業ができました。また、展示準備の中で資料の学習もでき、有意義な時間となりました。

らいてう没後50年「青鞥」創刊110年にあたり、「今 生きるらいてうのころざし」をテーマに新しい6枚のパネルを掲示します。生涯を通してらいてうは、女性の人権、「家制度」の批判や国際平和への探求など、今も女性たちが直面している問題を発信し、時代を切りひらいてきました。「3 りいてうとアジア・太平洋戦争」の項では、パネルの中に「治安維持法」に反対した



山本宣治の農民葬

た上田市ゆかりの山本宣治の労農葬の貴重な絵も掲示されています。また、ケース内には1950年野上弥生子ら4人と連名で発表した「非武装国日本女性の講和問題についての希望要項」発表に至る経過を記した「平塚らいてう日記」（新資料コピー）も展示され

ており、自ら考えて行動したらいてうの思いが記されています。現在も人権、平和の課題は女性たちに引き継がれ、実現に向け取り組まれています。ぜひ多くの方々に来館していただき、らいてうのころざしを引き継ぎ、平等で平和な社会構築のための学習と交流の場としての「らいてうの家」の役割を果たしていきたいと思います。



婦人参政への歴史（掲示）

# 森のめぐみ講座



第一回目の森のめぐみ講座は6月7日(日)におこなわれました。参加者20人、御代田町からの参加もありました。気候もちょうどよく作業しやすい天候でした。



みなで一生懸命の作業

午前中は「らいてうの家」の庭の笹刈りと雑草取りをしました。広場にタンポポが群生していたので、大急ぎで綿毛を取り、根から抜いて退治しました。手際の良い作業であつという間にきれいになりました。その下にある庭はベニバナイチヤクソウ、マイズルソウ、グンバイズルなどが広がりを見せ始めています。笹を刈り、スゲ、ヨモギ、アレチマツヨイグサ等を除去しました。作業を

続けていくとアヤメやホタルブクロ、ハンゴンソウ等が姿を現し、夏から秋に向けての花が楽しみです。ビーバー2台で周囲の草刈りもしてすっきりした庭の姿になりました。感謝です。家を訪れるみなさんにも気持ちよい環境になったと思います。会員のみなさんの力の結晶です。

午後は会員の倉橋さんの案内で峰の原高原の樹林の中のベニバナイチヤクソウの群生地を訪れ、その広がり、花の多さに感動の声でした。植物は樹木の落ち葉の栄養を取って成長していること、育つ環境の大切さを学びました。五味子の群生やクガイソウやツリガネニンジンも見つかり、これから夏や秋の訪れも楽しみです。山菜等もありそれぞれ満足できました。多様な自然の豊かさを学ぶ事ができました。

参加者のみなさんからは「疲れたけど楽しかった。また来年も楽しみ」「お昼は美味しいものをたくさん食べて疲れも取れた」「みなさんと一緒に作業が楽しい」等の感想をいただきました。

残念ながらコロナの影響で筑波大実験センターの訪問はできませんでしたが、来年はぜひ実現したいと思います。これからも、自然の中で生きる心地よさを大事にしていってうさんの思いをみなさんと共有したいと思います。



ベニバナイチヤクソウの群生地散策



## らいてうの家 今後の予定：

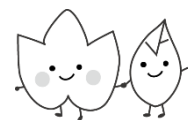


7月11日(日) 13:30~15:30

8月7日(土) 夕方

らいてう講座① 講師 米田佐代子さん  
「没後50年 今生きる らいてうのころざし  
—『戦後日記』を手がかりに—  
資料代 500円

星空観察会と音楽鑑賞会  
講師 安達永真さん  
資料代 500円



8月22日(日) 13:30~15:30

9月18日(土) 13:30~15:30

らいてう講座② 講師 折井美耶子さん  
「らいてうと消費組合 我等の家」  
資料代 500円

らいてう講座③ 講師 杉山洋子さん  
「らいてう」ゆかりの地元女性たち  
資料代 500円

会場はすべて「らいてうの家」です。参加をお待ちしています。